フェイクグリーンと生の植物を徹底比較!!

屋内で壁面緑化を行う場合、当社の商品のようなフェイクグリーンを使った規格品【グリーンモード】、職人さんが製作施工する【オリジナル造作】、本物の植物を使った【生の植物の植栽】といった方法があります。こちらでは、屋内で壁面緑化を選ぶ際のポイントについて素材別に比較してみたいと思います。

メリット・デメリットを把握してベストチョイスを！

例えば【生の植物】は、「本物らしさ」を求め、自然環境を空間に取り入れたいなら最適です。しかし、水の循環システムや照明器具の設置など、初期費用とランニングコストがかかってしまいます。「現場や好みに合わせて製作」するなら【オリジナル造作】がベストですが、打ち合わせ手間と納期がかかります。【グリーンモード】は空間演出しやすいように「インテリアとしてのデザイン性」をより重視しています。また、規格品のため価格も手頃で、施工も簡単に行えます。

	インテリア性	本物らしさ	耐久性・メンテナンス	打合せ手間・納期	価格	施工のしやすさ
グリーンパネル（GreenMode）	◎	△	○	◎	○	◎
オリジナル造作	○	△	○	×	△	△
生の植物	△	◎	△	△	×	×

インテリアとして飾るならフェイクグリーンがおすすめ！

「本物らしさ」を求め自然環境を身近な空間に取り入れたいなら【生の植物】がおすすめです。本物の植物でしか味わえない「育てる楽しみ」や環境企業としてのイメージUPも行えます。空間に合わせて飾るには、デザインの自由度が高い【グリーンモード】がおすすめです。最近では、フェイクグリーンの質も高まり本物にも見劣りしないクオリティーになってきています。【グリーンモード】は、商業空間や施設、オフィスの空間の特性や条件に合わせてグリーンスタイルを選ぶだけの手軽さが魅力です。スタンダードなスタイルからデザイン性のあるスタイルまで豊富に揃えています。

フェイクグリーンは、衛生的で水やりなどの専門知識不要、メンテナンス簡単！

【生の植物】は水やりや剪定、落ち葉処理などの定期的なメンテナンスが必要になります。水のやり過ぎによる根腐れといったトラブルや落葉し植え替えをするなど、何かと手間が掛かります。造園業者やレンタル業者などにメンテナンスを委託するケースも多いようです。フェイクグリーンを使う【グリーンモード】は、経年劣化した場合、交換が必要になりますが、定期的にほこりを掃除すれば、キレイな状態が長持ちします。衛生的で水やりなどの専門知識不要、メンテナンスが簡単に行えます。

よくある質問 FAQ

Q. フェイクグリーンの材質は何ですか？

主な材質はポリエステルやポリエチレンです。プラスチック系素材の特徴として熱や紫外線による劣化や退色が考えられますので、屋外や直射日光が当たる場所でのご使用には注意が必要です。

Q. 屋外で使用できますか？

基本的には、屋内用になりますので、屋外でのご使用には適しておりません。屋外での使用は色あせや破損、劣化を早めます。一部、「屋外用グリーンパネル」がございますので、軒下やエントランスなどでお使いいただけます。但し、屋外で使用し続けた場合は、経年劣化が生じますので、定期的な交換を前提としたご使用をおすすめします。

Q. どのように掃除すればいいですか？

定期的に、はたきやエアスプレー、乾いた布などで優しく汚れを取り除いてください。付き始めのホコリは簡単に取り除くことができるので、綺麗で清潔な状態を維持するためには小まめに掃除することをおすすめします。

Q. 特注サイズなどオーダー対応はできますか？

規格品をベースにしたサイズ変更など特注対応が可能です。設置場所や演出イメージに合わせたり、コーディネートするのに役立ちます。オーダーを上手に活用することで、よりオリジナリティのあるグリーン空間を作り出すことができます。

Q. グリーンのみや、ポットやスタンド部分だけの注文は可能ですか？

グリーンポットやグリーンスタンドの、ポットやスタンド部を外したグリーンのみの仕様ができます。ポットやスタンド部分のみの販売も可能です。
アレンジグリーンは、既存のプランターや造作家具に合わせた特注サイズの製作もできます。アレンジグリーンを商品から選んでいただき、注文品番、サイズをご指示いただければ、お見積り致します。

Q. サンプルはありますか？

下記の3つの方法でサンプル確認ができます。詳しくはHPからご請求いただくか、お問い合わせください。

「素材サンプル」無料配布…フェイクグリーンのクオリティーや質感が確認できます。
「代表商品の貸出しサンプル」…アレンジや構造など、仕様の確認ができます。
「ショールーム」… 商品バリエーションや飾り方のスタイルを一度に確認できます。

Q. 商品カタログはありますか？

「グリーンモードカタログvol.3」を無料で送付致します。壁付けグリーンやBOXプランター、卓上ポットなど約1000アイテムを掲載しております。また、人工樹木を約100アイテム掲載した「vol.3別冊 人工樹木カタログ」とオフィスや商業施設などのおすすめグリーン演出事例をまとめた「おすすめガイド」も同送致します。

Q. 全体のデザインやコーディネートはしてもらえますか？

当社は規格品メーカーになりますので、商品のご提供が中心になります。基本的には空間のコーディネートや、施工は行っていません。空間作りやコーディネートの参考に「おすすめガイド」をご用意しております。「おすすめガイド」では、壁面・卓上・フロアの設置場所に合わせたおすすめグリーン演出をご提案していますので、プランニングにお役立てください。また、ホームページではお客様からいただいた最新の施工事例も豊富に揃えておりますのでご参考にしてみてください。

グリーン空間を作るためのテクニック

飾る場所を決めて、グリーンスタイルを選ぶ
グリーン空間が手軽に作れます

居心地のいいグリーン空間を作るには、グリーンを目立つ場所に置いたり、所どころに配置したりして、空間全体にグリーンが自然と視界に入るようにコーディネートする必要があります。いざ具体的に検討し始めると、どこにどんなものを飾ればいいか分からないという方が多くいらっしゃいます。 実際には、飾る場所が決まると具体的にグリーンスタイルのイメージがしやすく、必然的にサイズや数量がある程度絞り込まれます。 ここでは、グリーンモードを使って快適なグリーン空間を作る上での、押さえておくべきポイントやテクニックをご紹介いたします。

エントランスやロビーなど

「広い空間」は、フォーカルポイントを作る

❶ フォーカルポイントを決める
「目立つ場所」や「空間の中心」、「広い壁」などの視界に入りやすい場所が最適です。

❷ 印象的なグリーンスタイルを選ぶ
「壁面緑化」や「人工樹木」など、 印象の強いスタイルを選ぶと目を引きおすすめです。1ヵ所に「複数展示」したり、パネルの「ランダム展示」など、展示の工夫で見せ場を作るのも効果的です。

❸ 空間全体のバランスを整える
空きスペースに「人工樹木」や、 動線に「グリーンスタンド」、テーブルに「卓上ポット」などを設置していくと空間全体がまとまります。

グリーンで見せ場を作ると
空間の魅力がグッと上がります

オフィスや店舗など

「家具のある空間」は、グリーンをバランス良く配置する

❶ 空きスペースに配置する
まずは、四隔やデスク周りに配置していきましょう。フロア、テーブル上、壁面の「空きスペースをグリーンで埋める」要領で配置していきます。

❷ 目線の先にグリーンを取り入れる
一般的に緑視率10〜15%の空間が居心地いい快適空間と言われています。 壁面緑化、人工樹木、卓上ポットなど、スタイルの違うアイテムを散りばめることで、センスのいい空間が作れます。

❸ 色やデザインを合わせる
自然を彷彿とさせるような緑やブラウン系のアースカラーで統一すると、空間になじみやすく居心地のいい雰囲気を演出します。 ポットの色を合わせたり、家具色と合わせたり、色の統一でまとまり良く見えます。

グリーンに囲まれた
リラックス空間が作れます

執務室やミーティングスペースなど

「オープンスペース」は、グリーンを区画作りや仕切りに使う

❶ 目的に合ったスタイルを選ぶ
「仕切り」「目隠し」「コーナー作り」など目的に合わせたパーテーションを選択します。面で仕切るパネルタイプやボックス型のプランタータイプなどデザインや条件からスタイルを選んでいきます。

❷ ゾーニングにはグリーンのパーテーションがおすすめ
適度な距離や密にならない動線、 プライベートスペースを作り出すことができます。テーブル毎に1台ずつ設置したり、テーブル周りに囲むように設置したり、手軽にゾーニングをすることが可能です。

❸ 追加や変更で使いやすい空間にしていく
まずは、置いてみて、使い勝手を確認しながら、グリーン空間を作っていくのも良いと思います。移動ができるため、レイアウト変更も簡単です。

グリーン仕切りで
業務に集中できる環境が作れます

ホールやロビー・待合室など

「通路スペース」は、動線を意識して誘導や区画作りに使う

❶ 人の流れに沿って誘導したり、進入禁止として設置する
関係者以外立ち入り禁止エリアなど、人の流れの誘導に便利に使えます。移動の手軽さと、グリーン効果でストレス軽減にもつながります。

❷ ソファ周りなどの仕切りや区画作りとして設置する
人が集まる場所には、気軽に休憩できるスペースは不可欠です。
休憩スペースのソファ横にグリーンを置くことでリラックス空間ができます。

❸ 人が行き交う共有スペースをセンスアップ
目に入りやすい場所にさりげなくセンスのいいグリーン仕切りやグリーン装飾スタンドを設置するのがおすすめです。

人が行き交う場所で
ホスピタリティーある
明るい空間になります

トイレや洗面所など

「狭い空間」は、目線の高さに圧迫感のないものを設置する

❶ 壁面スペースを有効活用する
殺風景になりがちな壁面スペースには、アートパネル風グリーンや自然なしだれポットなどの小サイズがおすすめです。

❷ 複数枚並べるなど展示工夫でセンスアップ
アートパネルのように均等幅で並べたり、しだれグリーンをランダムに展示したり展示の工夫でオシャレに演出できます。

❸ 目線の先にグリーンを取り入れる
「入り口周辺の隅」や「テーブル上」など動線や目線に合わせてグリーンを配置していくと居心地のいい空間が作れます。

目線にちょっとグリーンが
あるだけで癒されます